

和光市デジタルミュージアム紀要

第2号



目次

<講演録>

吹上貝塚とその時代

－市制施行45周年記念特別展「出土遺物の交流と結」記念講演－・・・講演者：小林達雄 p1

<論稿>

和光市で農耕が始まった頃

－レプリカ法による午王山遺跡・吹上遺跡の栽培穀物調査－・・・遠藤英子 p23

和光市内出土土器及び

黒曜石製石器の分析について・・・鈴木一郎・赤堀岳人・矢作健二・石岡智武・齋藤紀行 p35



2016.3

和光市教育委員会

序文

地域の文化財とは、先人によりこの地に生まれ現代まで伝えられてきた、知恵や経験、活動の成果及びそれが存在する環境など、地域文化を構成する多様な価値観を持つ歴史的・文化的・自然的遺産であります。

和光市では、このような郷土ゆかりの貴重な文化財等を、次世代に継承していくために、多くの方々から資料等の寄託や寄附をいただき、文化財保存庫に収蔵してきました。これらの収蔵物等を広く市民の皆様をはじめ多くの方々にご紹介し、本市の歴史や文化をご理解いただくツールとして、平成24年4月1日に、「和光市デジタルミュージアム『れきたま』」を、Web上に構築をして配信を開始しました。そして、昨年度からは、さらに『れきたま』の充実を図るべく、「和光市デジタルミュージアム紀要」を創刊し、併せてWeb上において公開をしております。

今回は、和光市制45周年記念特別展「出土遺物の交流と結」記念講演会として、平成27年11月29日に、國學院大學名誉教授小林達雄先生に「吹上貝塚とその時代」と題してご講演いただきました講演録を、掲載について快くご了承賜り掲載させていただくことができました。小林達雄先生には心より厚く御礼を申し上げます。また、明治大学黒耀石研究センターの遠藤英子氏からは、当市の午王山遺跡・吹上遺跡出土の土器について、「レプリカ法」を用いて分析された貴重な成果をお寄せいただき、紀要内容の充実にご協力を賜りました。誠にありがとうございました。さらに、当市から出土した様々な遺物について、分析を行った成果についても掲載しております。

歴史文化遺産の保護は、地域における祖先の営みを知り、地域の歴史を正しく理解し、地域の文化の向上に資するものとして、今の時代に生きる私たちに課せられた大切な役割です。また、このような資料の蓄積は、当市の歴史や文化財を学び理解していただく上で有効なものであると考えています。ふるさと再発見のために、歴史文化遺産をトータルに見つめる眼を養っていただく一助として、本紀要が多くの皆様にご活用いただけますれば幸甚に存じます。

結びに、本紀要の刊行にあたり公私ともご多用の中、ご協力をいただきました先生方をはじめ、たくさんのご教示・ご高配を賜りました関係各位に心より厚く御礼申し上げます、あいさついたします。

平成28年3月
和光市教育委員会
教育長 大久保 昭男

